

盛岡市立小・中学校 A I 型ドリル導入業務委託公募型プロポーザル 審査項目及び評価基準

	区分	審査項目	評価内容と評価の視点	配点	評価				
					A	B	C	D	E
1	資格審査	事業実績	様式第3号「事業実績書」の内容により、他自治体を契約の相手方とした契約実績を踏まえ円滑な業務の履行が期待できる。	10	2点×最大5件まで				
2		A I 型ドリル機能要件対応	様式5号「A I 型ドリル機能要件一覧表」の内容により、必須項目を全て満たし、適切なサービスを提供できる。 (必須項目の対応状況に「×」がある場合は失格とする。)	20	様式5号の配点表による				
3	企画提案・プレゼンテーション審査	提案価格 (令和5年度のみ)	当該年度分(令和6年3月31日まで)について、上限提案価格の範囲での提案となっているか。 (<u>上限提案価格を超過している場合は失格とする。</u>)	5	配点×(最低提案価格/提案価格) ※小数点以下第1位を四捨五入				
4		提案価格 (令和5～7年度)	当該業務委託を3年間(令和8年3月31日まで)継続した場合の提案価格が妥当であるか。 (学力定着には長期の継続利用が望ましいため、3年間の価格の提示を併せて求めるもの。)	5					
5		ユーザインタフェース	児童生徒の学習画面、教職員の管理画面、サポートサイトが見やすく分かりやすい画面になっているか。	5	5	4	3	2	1
6		問題の豊富さ及び問題の難易度	ドリル学習における問題数及び問題の難易度において、学習活動に適した内容となっているか。	5	5	4	3	2	1
7		業務体制	盛岡市立小・中学校における現状のICT整備環境を十分理解し、業務スケジュール、業務体制、業務内容が提案されているか。	15	15	12	9	6	3
8		導入後のサポート	問い合わせ窓口、サポートサイト、操作研修会の内容は学校がサービスを利用する上で、効果的な内容となっているか。	10	10	8	6	4	2
9			導入後のサポート	導入の翌年度以降、契約主体が市(小中学校全校)から学校単位に変更が生じた場合の対応が可能であるか。 (市の予算が継続できない場合も、学校単位で継続利用希望がある可能性があるため。)	5	5	4	3	2
10	自由提案	仕様書に記載のないサービスや機能等について、提案内容が優れているか。	20	20	16	12	8	4	
合計				100					

得点化基準

評価	評価基準	点数化の方法
A	提案内容が要求水準より極めて優れている	配点×1.0
B	提案内容が要求水準より優れている	配点×0.8
C	提案内容が要求水準に達している	配点×0.6
D	提案内容が要求水準よりやや劣る	配点×0.4
E	提案内容が要求水準より劣る	配点×0.2
なし	必須項目不十分、上限提案価格超過、未記入等	配点×0.0